

2024 年度

イオンゆめみらい保育園 新小松 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 12 月 25 日（水）～1 月 20 日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月7日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「日々のいのちとくらしを、夢のある未来に変えていく」というイオン宣言（当時）の実現に向け、「子どもたちが夢を持ち続けられる保育を提供すると共に、働く人々の『Work』『Life』両立、そして家族の Happy&Healthy を支援します。」の保育理念に則り、子ども達の成長はもちろん、保護者様の仕事と生活、幸せと健康のお手伝いができるよう「子育て支援」に努めた。
子どもの発達援助	途中入園児が多く、園生活に慣れるまで食事、睡眠等、一人ひとりの性格に寄り添い丁寧な保育をおこなうよう心掛けた。 職員会議にて発達の状況を話し合い、子ども達一人ひとりの姿を職員間で共有、その時々で最善の保育が提供できるように考えて対応した。 年齢ごとの保育と異年齢保育の経験が、子ども達の成長にとっても良い影響をもたらしていた。
保護者に対する支援	保育園での子ども達の姿や成長を感じられるよう HP の充実に努めた。 また送迎の際は個別に時間が取れるので、その日の様子や発見、成長の共有の時間になるよう意識し、しっかりと対応できたと感じている。
保育を支える組織的基盤	不適切保育防止のための動画視聴研修や、不適切保育の考え方、園としての取り組みを園内研修にて実施、子どもの最善の利益の研修動画内容を、常に意識し念頭に置いて保育するために毎月継続し行うことで浸透につなげた。 また SIDS 防止対策として、園内研修にて過去に起こった実際の報道や保護者の声などの事例検討をおこない、呼吸チェック（ラウンド確認）の徹底に努めた。

総評
親子遠足では、保護者同士の交流の機会となり、保育参加ではお当番活動の様子や手洗い、排泄、子ども達同士の関わり、親子の触れ合いなど、HP の内容と連動し日常の保育を知ってもらう機会となった。 安全面ではヒヤリハットをしっかりと書き、個々の気付きやヒヤリを共有することにより、事故予防や危険個所の理解の共有に繋げることができた。今後も職員間の情報共有とコミュニケーションを大切に、子ども達一人ひとりの成長を大切にし、保育園全体での学びの共有、実践を行い、保育の質の向上に努めていきたい。